

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2015-16 Rotary International District 2760 ガバナー月信

2016  
March

# 3



写真：陶のまち瀬戸のお雛めぐり

※掲載されている写真等の無断転載はご遠慮ください。



Be a gift to the world

世界への  
プレゼントになろう



## CONTENTS

- |    |                           |    |                   |
|----|---------------------------|----|-------------------|
| 02 | ガバナーメッセージ                 | 12 | 周年式典報告【豊橋東RC】     |
| 03 | 水と衛生月間                    | 13 | ロータリーコーディネーターニュース |
| 04 | 世界ローターアクト週間               | 14 | ハイライトよねやま         |
| 05 | IM報告                      | 16 | ソウル大会 インフォメーション   |
|    | <b>【委員会報告】</b>            | 18 | 文庫通信              |
| 07 | ○インド ポリオワクチン投与活動 報告       | 19 | 会員数及び出席報告         |
| 08 | ○2015-2016年度 新会員研修セミナー 報告 |    |                   |
| 10 | ○第2回被災高校生支援委員会 報告         |    |                   |
| 11 | ○第8回全国RYLA研究会 報告          |    |                   |



# ガバナーメッセージ

ガバナー 加藤 陽一

ガバナーに就任して早6ヶ月、思えば1年前はガバナー年度の準備で大変多忙な日々を過ごしていました。その後、8月から10月まではガバナー公式訪問を実施し、その節は皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。

その際、私の地区方針として「ロータリーの原点に学ぶ～友情と寛容の輪を拡げよう～」と皆様にお話をしてまいりました。私がロータリーに入会させていただいた20年程前は大変厳しいご指導をいただき、その中で他とは違う人間がロータリアンだと思ひ厳しくも楽しい毎日を過ごした事が、昨日の様に懐かしく思っております。是非、ロータリアンの皆様には、ロータリアンとしてのプライドを持っていただき、新しいロータリアンに態度で行動でロータリーとはこういうものだとし示していただきたいと、益々考える今日この頃です。宜しく願いいたします。

さて、3月は「水と衛生月間」です。これは、奉仕活動に関する6つの重点項目の1つであります。我が第2760地区の地区国際奉仕委員会は「水と衛生」に関して、本年もミャンマーを訪問し、WFFでご協力いただきました寄付等を使い、トイレとシャワーを作るべく計画しております。また、クラブ単位でも財団の資金を活用し、同様な活躍をしていただいております。RIテーマ「世界へのプレゼントになろう」と多々奉仕活動をしていただいているロータリアンの皆様に感謝しております。

私自身、ガバナーとして残り4ヶ月、一生懸命頑張るつもりでございます。ロータリアンの皆様のみますますのご指導宜しく願い致します。

BE A GIFT TO THE WORLD !!





## 「水と衛生」月間に寄せて

国際奉仕委員会 委員長 杉浦 敏夫



国際ロータリーの重点分野の一つに『Water and Sanitation』があります。すなわち「水と衛生」をうたっています。世界には、十分な衛生施設を利用できない人々が25億人以上います。また、汚染された水で下痢疾患を患い、命を落とす子どもたちが毎日3,000人いると言われています。「水と衛生」では、地域社会が長期的に水を確保し、衛生施設を維持できるよう支援するほか、水と衛生に関連する研究支援・人材育成にも力を入れています。



私たち、第2760地区も地区事業として三回実施しました「ワールド・フード・ふれ愛フェスタ」の収益金の一部を第1回はカンボジアのシェムリアップの南の地域に350戸余りに給水できる水道施設、第2回もカンボジア・シェムリアップ北西部地域に井戸やトイレの設置を進めて参りました。本年度、第3回「ワールド・フード・ふれ愛フェスタ」におきましてはミャンマーの水資源確保をサブテーマに選び、現状ではヤンゴンから飛行機で北へ1時間ほど飛んだラショー地域への支援の準備を進めています。

本事業は地区国際奉仕委員会のプロジェクト事業と位置付け、各クラブ単独では実施がし難い皆様のご浄財を拠出して頂き、前述の「ワールド・フード・ふれ愛フェスタ」の収益金と合わせ実施するものです。本年度の支援先ミャンマーは初めての支援先で、今年度は第1回国際奉仕委員長会議でご講演を頂いた、特定非営利活動法人AMDA社会開発機構様のご協力を頂きながら進めています。恐らく引き渡し式の時期は5月中旬～6月中旬になる予定です。日程が決まり次第至急、皆様にご案内をさせていただきます。是非、皆様にはお時間をおつくり頂き一緒に現地に出向き、肌で現地を感じて頂ければと思いますので宜しくご協力のほどお願い申し上げます。





# 世界ローターアクト週間

## 世界ローターアクト週間にあたって

地区ローターアクト委員会 委員長 西本 一幸



1968年3月13日、世界最初のローターアクトクラブが誕生しました。米国ノースカロライナ州のノースシャーロットRCが提唱するノースシャーロットRACです。それから24年後の1992年に、RI理事会は、3月13日を「世界ローターアクトの日」とし、翌1993年、RAの創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を、「世界ローターアクト週間(World Rotaract Week)」に指定しました。ちなみに、日本最初のローターアクトクラブは、米国と同じ1968年に埼玉県の川越RCの提唱により創立した、国際商科大学RAC(現川越RAC)となります。ここ2760地区では翌1969年、最初のローターアクトクラブとして岡崎RCの提唱により岡崎RACが創立されています。

創立以来、多くのメンバーで賑わってきたローターアクトクラブも昨今、全国的に会員数は減少の一途をたどっています。会員増強はローターアクターの責務であることは周知のことですが、存続の危機にたたされ、親の助けを必要としているクラブがいくつかあり、大変苦しい状況となっています。どうかこの世界ローターアクト週間を機に、提唱ロータークラブの皆様には、ローターアクトの活動を共同のプロジェクトとしてとらえていただき、ロータリーファミリーとしてさらなるご支援をお願いしたいと思います。そして、ローターアクトクラブ未提唱のロータークラブの皆様におかれましては、新しいローターアクトクラブの提唱や既存のローターアクトクラブへの提唱・協力への参加を是非ともご検討いただきたく思います。

ローターアクターたちは、ロータリーファミリーにおける最も活動的な仲間であり、我が国の未来を背負う大切な私たちの後継でもあります。我々にはその後継をきちんと育てるという大きな使命が与えられています。2760地区内のすべてのロータリーの皆様、これまでより一層のローターアクトへのご理解とご支援をお願い申し上げます。



# 2015-2016年度〈西尾張分区〉 I.M.開催報告

西尾張分区 I.M.実行委員会 実行委員長 山内 登



「国際ロータリー第2760地区 2015-2016年度 西尾張分区 I.M.」には、大変多くのメンバーの皆様にご参加を頂き本当にありがとうございました。まずもって御礼申し上げます。

当日、こまの妙技と合唱を披露させて頂きましたが、合唱団の一人に体の不自由な子がいました。舞台から車椅子を降ろす時、メンバーの皆様がただちに手をかしてくれました。ロータリーの「奉仕の精神」が宿っていると思い、やすらかな気持ちになりました。また、テーブルに着いて勉強するのも良いのですが、お酒をくみかわしながらロータリーについてミーティングが行われた事も大変頼もしく思いました。

短い時間ではありましたが、無事に終える事ができました。最後にもう一度御礼を申し上げ感謝致します。





## IM開催を終えて

西三河中分区 ガバナー補佐 **小幡 輝雄**



2016年2月13日(土) ホテル・フォレストヒルズにて15-16年度西三河中分区・インターシティーミーティング(IM)を豊田西RCをホストクラブとして、ご来賓に太田稔彦豊田市長、加藤陽一ガバナー、斎藤直美RI理事エレクト、大竹地区幹事はじめ多くの特別出席者のご臨席を賜り開催させていただきました。西三河中分区9RCの会員296名、地区外会員5名合計301名のご登録・参加いただきました。

本年度の西三河中分区IMは、本来のIMの目的である近隣クラブが共通のテーマで語り合い、親睦・交流・情報交換の場とする主旨のもと開催させていただきました。西三河中分区9RC実践してみえる地域に密着した個性あふれる奉仕事業を発表、パネル掲示していただき情報交換の場とさせていただきます。点鐘に始まり、豊田市長のご祝辞、加藤ガバナーよりのご挨拶を賜り、各RCの活動発表をいたしました。①岡崎南RCより、岡崎市立美合小学校のホタル保護への地域を取り込んだ活動事例。②岡崎城南RCよりミャンマーへの図書館建設、奨学生等教育支援事例。③豊田東RCより子供への食育をテーマにした活動と少年野球等への支援活動事例。④豊田西RCより地区RCC補助金を利用しての豊田市内子ども歌舞伎、東日本大震災遺児育英支援、少年野球、在日外国人子供教育支援活動事例。5RCにつきましては、友愛の広場にて奉仕活動事例のパネル掲示をさせていただきます、各RCの情報交換の場とさせていただきます。又、IMのもうひとつの目的である9RCの会員の交流の場である懇親会も岡崎・豊田地区のロータリアンが和気合々のもと親睦を多に深めることができましたIMでありました。

加藤陽一ガバナーを始め多くの特別出席者の方々、西三河中分区9RC会員のご指導とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。IM開催の報告とさせていただきます。



## インド ポリオワクチン投与 活動報告

ポリオプラス委員会 委員長 佐々木 久直



第2760地区 ローター財団 ポリオプラス委員会は、鈴木財団委員長を団長として、ロータリアン15名にローターアクト2名を含む17名にて、2016年1月17日に開催されたインドNID (National Immunization Day 全国一斉投与日)に参加して参りました。第2760地区としては2010年の1月に初めて参加し、今回で5回目の投与活動となりました。今回はニューデリーのデリー・サウス・メトロポリタンRC管轄の地域 (Kusumpur Pahari)にて投与活動をいたしました。今年のインドNIDは1月17日と2月21日と2回行われ、NID翌日から5日間にかけて2億4万世帯へホーム訪問による投与が行われます。インド全国で毎年約1億7000万人もの5歳以下の子供達に投与されています。

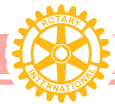
インドでは2011年1月以降の発症が無く、2014年3月にWHO (世界保健機関)よりインドを含む東南アジア地域のポリオ根絶が宣言され「ポリオフリー」と認定されました。訪れたWHOインド本部のDr. Revanir氏のレクチャーによると、投与活動はインドNIDの翌日から5日間行われるホーム訪問投与に軸足が移りつつあり、いよいよこの4月より注射による不活化ワクチンの投与が始まるそうです。また、ロータリーの果たした役割については、お金を寄付しワクチンを提供するだけではなく、「世界のネットワークを活かして、財界は元より政府を動かし、異なる宗教をつなぎ、常にロータリアンが先頭に立ち困難を解決した。」と謝辞を述べられ、とても感慨深い経験となりました。ロータリーにおけるアドボガシー活動の重要性を再認識いたしました。

インドでは毎年2700万人の新生児が誕生しています。隣国パキстанはまだポリオ常在国なので、国境や空港でポリオワクチンを投与しブロックを徹底しているそうですが、予断を許さない状況は続いています。常在国もあとパキстанとアフガニスタンの2国のみとなりました。世界中からポリオが無くなるのが目前です。しかし、気を抜くことは出来ません。2013年4月、世界ワクチンサミットにて「ポリオ撲滅・エンドゲーム戦略計画2013-2018」が全面支援されました。戦略計画は、「2015年に野生株ポリオの絶滅」。2017年に、「不活化ワクチン完全導入と、感染症対策の地球的規範化」。2018年に、「ポリオ撲滅宣言」となっています。国際ロータリーは2018年まで、毎年3,500万米ドルの募金を目標に掲げました。

ポリオプラス委員会ではポリオ撲滅をめざし、これからもアドボガシー活動を積極的に推し進めて参ります。皆様のご参加とご協力を、宜しくお願ひします。







## 2015-16年度 新会員研修セミナー 〈尾張 名古屋地区〉ご報告

地区研修委員会 委員長 成田 洋之



平成28年1月23日、名鉄グランドホテルに於いて尾張3分区、名古屋2分区所属クラブより、入会3年未満の新会員を対象に「新会員研修セミナー」を開催致しました。5分区36クラブより99名の新会員、および役員、委員会24名、計123名の参加を得て開催致しました。セミナーは先ず、第2790地区PDG土屋亮平氏(松戸RC)を講師にお招きし、「選ばれた人の義務」をテーマとしてご講演いただきました。

(要旨) ロータリーに於ける「ノブレス オブリージュ」

- ① ロータリアンは定款第7条に明記されているように「選ばれた人」であり、英国貴族に顕著な「ノブレス オブリージュ」即ち、「高貴な者の負うべき義務」と同様、一定の社会的地位にあるロータリアンには、自負・自尊と共に相応の社会的責任、倫理が要求されること。
- ② 社会的責任の最も重要な現われである自己の職業に忠実・誠実かつ倫理的に精励(職業奉仕理念)することが自ずから職業、一族の繁栄に繋がり、引いては住み良い社会の創造に資すること。
- ③ この理念を社会に敷衍し、かつ責務の重要性を認識させるために考案されたのが一業種一会員制である。即ち、業界の代表者としての自負と責任をもつての行動が要求される。

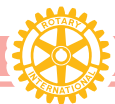
などから説き起こされ、明治期「日本奥地紀行」の著者イザベラ・バード、詩人で大正時代の駐日仏大使のポール・クロードルが賞賛した嘗ての全ての日本人が持っていた「君子の生き方」と、今の日本のみならず世界に於いても企業、スポーツ界などに次々と現れる「人間の卑しさ」を比較され、ロータリアンとして何を矜持すべきかを問い掛けられました。

続いて新会員とディスカッションリーダーによるワークショップを開催。講演の感想と「四つのテスト」について語り合う、新会員にとっては初めての体験は、新人同士の気安い雰囲気も手伝って終始活発に行われました。

今回の「新会員研修セミナー」が参加者にとって、聊かでも今後のロータリー活動に資することを念じて報告と致します。(文責/天野 正明)







## 2015-16年度 新会員研修セミナー 〈三河地区〉ご報告

地区研修委員会 委員長 成田 洋之



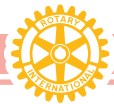
2016年2月6日(土)午後2時より、豊橋商工会議所にて「2015-2016年度三河地区新会員セミナー」を開催し96名の参加を得て開催されました。

はじめに、成田地区研修委員長の点鐘ではじまり、江崎柳節元地区研修リーダーより挨拶がありました。続いて関口宗男ファシリテーターより研修テキストの説明の後、講話として千田毅研修リーダーから研修への心構えのお話がありました。

今回の講師、杉浦壽康地区研修委員より演題として「ロータリーを知ろう、楽しもう、～ロータリーの変遷～」と題して、ロータリーの生い立ちからロータリーの本質について解り易く解説して頂きました。

その後、8グループの部屋に分かれてRLI方式によるディスカッションが行われ、参加者の積極的な話がかかわされ、グループ毎にレポートを提出して頂く様お願いして終了しました。江崎パストガバナーより講評があり、高畑皓一地区研修副委員長の閉会のことばを頂き、成田研修委員長の点鐘で終了しました。

(文責／細井 英治)



## 第2回被災高校生支援委員会 報告

被災高校生支援委員会 委員長 **本多 満**



第二回被災高校生支援委員会を開催しましたので報告します

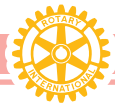
- 日時／2016年2月1日(月) 16:00～17:00
- 場所／ガバナー事務所（豊島ビル3F 会議室）
- 出席者／加藤ガバナー、千田パストガバナー、田中パストガバナー  
〈アドバイザー〉大島、小原、服部 〈委員〉本多、浜、柳沢、笹野、松田

千田、田中両パストガバナーの挨拶で会議が始まり、本事業は成功裡に終わりつつあるが、残りの事業についても気を抜くことなく取組んでいくようにとの言葉がありました。千田パストガバナーは現地の高校生は優秀な方たちであることが、昨年末の盛岡での、「ふれあい昼食会」に出席した高校生の直接会って話ができ確認できましたと述べられました。

### 【報告事項】

- 松田委員から会計報告がされました。
- 本多からは今後のクロージング事業の報告をしました。
- 奨学生には事業の修了証、記念品（腕時計、個人名入り）、加藤ガバナーのメッセージをセットにして、サポートRC、NPO経由で奨学生に3月1日までに送付する予定と説明しました。
- サポートRC、NPOと2520地区 仙台地区大会にあわせて合同会議で事業終了の確認をする予定と説明しました。また地区大会では千田パストガバナーより、本事業の終了の説明、謝辞を述べる予定です。
- 本事業の記録誌の作成を提案し了承を得ました。経費をあまりかけない方法を検討することにしました。





## 第8回全国RYLA研究会 RYLAプログラムの活性化を目指して

地区RYLA委員会 委員長 竹内 幹尚



RYLA (Rotary Youth Leadership Awards=ロータリー青少年指導者養成プログラム)への理解を深め、日本のRYLAプログラムの活性化を図るため、第8回全国RYLA研究会が1月31日(日)東京国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。全国からガバナーをはじめ、青少年関係者120名以上が参加しました。南園義一大会委員長・元RI理事の基調講演「RYLAにおける中核的価値観とリーダーシップ」をテーマに講演いただきました。その後、日本のRYLAの今後・・・と題し御手洗美智子大会副委員長より報告がありました。

そして、RYLArianの発表を全国から8名発表。本地区より尾崎雅輝君(現在豊橋ゴールデンRC)がスピーチを行いました。今回の目的は全国のRYLA活動の拡大と、活性化。地区間の情報交換。国際ロータリーからの報告。今後の方向性など三木明・RIローターアクト/インターアクト委員会委員の司会でパネルディスカッション、グループごと別れてテーブルディスカッションで意見交換を行いました。

また昨年開催した本地区の第23回RYLAセミナー(一宮RCホストクラブ)の報告書を他地区の関係者にお配りをしました。2016年の規定審議会でも「ロータリーの目的」の第5項に青少年奉仕の項目が加えられることになっています。RYLAは未来に向けたロータリー活動の中でもユニークな重要なプログラムです。

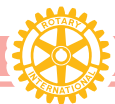
最後まで全員が熱心に情報や意見交換を話し合い、閉会となりました。大変充実した意義有る研究会でした。

### 第8回 全国RYLA研究会 大会プログラム

	総合司会者……………三木 明 国際ロータリー元副リーダー
9:30	登録受付
10:00	開会点鐘・ご挨拶……………南園 義一 大会委員長・元RI理事 ご挨拶……………水野 功 オバケー会委員長
10:15	基調講演「RYLAにおける中核的価値観とリーダーシップ」 南園 義一 国際ロータリー元理事
11:15	日本のRYLAの今後……………御手洗美智子 大会副委員長 YLS (ソウル国際大会) ……市川伊三夫 元RI会員増殖・維持委員会委員
11:30	RYLArianの発表【I】 [RYLArian紹介] 野々山 隼人 (D2550 松本) 長尾衣孝子 (D2830 青森) 福山 太一 (D2890 兵庫)
12:00~13:00	昼 食
13:00	RYLArianの発表【II】 尾崎 雅輝 (D2760 豊橋) 長川 雅雄 (D2750 東京) 主催者として 大久保裕元 (D2710 山口) 同窓会から 西村 俊輝 (D2750 東京) Network代表
13:30	分科会 (テーブルディスカッション) 担当責任者:三木 明 テーマ例:「RYLAセミナーを充実させるには?」 「ユニークなプログラムを考える」 「趣向の若世代プログラムとして」 「日本のRYLAの今後」
14:55~15:15	休憩 (コーヒーブレイク)
15:15	オープンフォーラム 担当:斎藤 直美、松宮 剛
16:00	議 評……………南園 義一 (大会委員長)
16:15	閉会点鐘……………御手洗美智子 (大会副委員長)
16:20	記念撮影
16:30	散会



# 周年記念式典報告 I



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER March 2015-16 Rotary International District 2760

## 豊橋東ロータリークラブ 創立20周年記念式典 報告

豊橋東ロータリークラブ 会長 川西 裕康



豊橋東ロータリークラブ創立20周年記念式典は、2016年1月24日ホテルアークリッシュ豊橋にて挙行させていただきました。豊橋市副市长堀内一孝様、豊橋商工会議所会頭吉川一弘様にご来賓としてご臨席を賜り、またロータリークラブからは第2760地区ガバナー加藤陽一様をはじめとして、多くの地区、分区役員の皆様、また当クラブ創設時並びにその後大変お世話になった多くのロータリアンの皆様にもご出席をいただきました。豊橋東ロータリークラブは、当時の地区ガバナー石川和昌様の拡大理念に基づき、中村英彦特別代表の指導のもと、豊橋南ロータリークラブ様をスポンサーとして、ちょうど20年前の1996年1月24日、豊橋で5番目のロータリークラブとして創立総会を挙行了しました。創立の精神として「青少年を対象として、教育・スポーツ活動を通して国際交流を図り、世界平和に貢献する」を重点目標に掲げ、奉仕活動の推進に努力して参りました。創立以来韓国中央大学校日本語日文学科生徒の短期留学を通じた交流事業を続け、同事業は会員企業に引き継がれています。ここ3年は東北大震災復興支援の一環として桜丘高校と連携しながら東三河の高校生を現地に派遣する事業を実施しています。また本年度は20周年記念事業として、2015年7月29日に豊橋市公会堂にて、気仙沼市在住のシンガーソングライター熊谷育美さんによる「復興の風吹きやまぬ 東北よりの風コンサート」を開催しました。気仙沼市から招いた高校生10名を交え、たくさんの東三河の高校生や市民の方々にご参加頂きました。当クラブは現在も豊橋で最も若いクラブであり、42名の会員にて持続可能(sustainable)な方法で、多様性を尊重し(diversity)、楽しく交われるクラブを目指した運営を続けてまいりたいと決意しています。なお一層のご指導ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

# 3 2016 March Rotary Coordinator News



ロータリーコーディネーターニュース 第1ゾーンARPIC 鈴木 秀憲

## 公共イメージについて考える

ロータリーは、毎年行われるリーダー交代による継続性確保の課題を認識し、一方で変化が激しく、予測が極めて困難な環境を考慮し、長期計画を組織運営の為の具体的な計画として位置づけ、2007年6月、RI理事会が2007-10年度の国際ロータリーの長期計画を承認しました。これにはロータリーの使命、ビジョン、優先項目、目標として提案された内容が検討され、7つの優先項目とロータリーの基本的信条を表す5つの中核的価値観も含まれました。3年後の2010年に見直しが行われ、整理され、現在と同じ3つの優先項目になりました。(2011年11月に、Strategicの日本語訳が「長期計画」から「戦略計画」になりました。)これが、更に3年後の2013年に再度見直され、引き続き「現在の内容」になっています。その優先項目の一つ「公共イメージと認知度の向上」について考えてみましょう。

この項目について考えると、一つは「ロータリーが行っていることを世間にご理解頂く為に周知する事。」つまり「どのように世間へお伝えするのか?」という事=方法論ですが、私は「世間へお伝えすべき事項は何か?」という事つまり内容論を真っ先に考えます。そして大切な事は「世間が必要としていることを行えば、結果として『ロータリーの公共イメージ』がアップする。」と考えます。世間があまり必要としていない事を行っても、ロータリーの公共イメージは向上しないで、「マスターベーションを行っている」と受け取られかねないと考えます。マスターベーションという表現は酷いとしても、「公共イメージの向上」には繋がらないと思います。それともう一つ、同じ地域に複数のクラブがあり、夫々が異なる奉仕活動を行っている、世間の方からは、やはり「ロータリーって何をやっているかよく解らない。」と思われ、従って「奉仕活動をどのように行うか?」が、肝心です。つまり何が公共の為になるかです。この事を、クラブで(場合によったら同一地域の他のクラブも含め合同で)、或は地区で議論して、公共の為(公益)の事業を試みる必要があります。

又、当初は意義があった奉仕活動でも、年月を経ると意義や意味が薄れることもあります。奉仕活動の見直しつまり「スクラップ&ビルド」も考える必要もあります。新しいジャンルの奉仕活動を行う事によって、新たな観点からの会員勧誘につなげる事も出来ます。更に地区補助金を活用して公益事業を行い、同時にこの事を世間へ広報したら如何でしょうか? 公益性の強い奉仕事業であれば有るほど、黙っていても世間で周知され、公共イメージや認知度は向上することでしょう。



# ハイライトよねやま 191

2016年2月12日発行  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

## 寄付金速報 — 下期も順調なスタート —

1月までの寄付金は前年同期と比べ4.6%増、約4,780万円の増加です。普通寄付金が0.2%増、特別寄付金が7.1%増となりました。1月のみの単月納入額比較では、直近5年間のうち、普通寄付金は4番目の金額と少々送金が遅れておりますが、特別寄付金はトップの金額で、下期も順調なスタートを切ることができました。

1月は普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付）下期分の納入が主になります。今年度は1月末までに全クラブの73%、1,655クラブから納入いただきました。引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

## 内閣府による立ち入り検査を受けました

2016年1月13日、ロータリー米山記念奨学会事務局で、公益財団法人移行後初めての立入検査を受けました。検査官は公益法人行政担当室政策企画調査官および上席審査監督調査官の2人で、当財団からは三井章義副理事長および岩邊俊久事務局長、事務局職員が立ち会いました。

最初に、事業概況等について説明を求められ、三井副理事長から米山梅吉氏および財団設立の経緯と歴史について、続いて岩邊事務局長から、事業内容と活動概要等について説明を行いました。検査では、岩邊事務局長と事務局職員が質問内容に応じて回答しました。

検査終了後の口頭による講評では、文書で通達すべき事項はなく、奨学団体として適正な管理運営がされているとの評価を受けました。ただし今後の法人運営に関する検討課題がいくつかあげられましたので、検討し改善してまいります。

## 2016学年度 新規米山奨学生の合格者が決定

昨年12月～今年1月末にかけて、2016年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が各地区選考委員会によって行われ、合格者が決定しました。

1,329人の申し込みに対し、奨学金プログラム別の合格者数は、学部・修士・博士課程奨学金【指定校応募】が522人、地区奨励奨学金【指定校応募】が15人、クラブ支援奨学金が6人、海外応募者対象奨学金【海外からの個人応募】が6人となりました。このほか、海外学友会推薦奨学生を現在選考中です。

現在の合格者を国籍・地域別に見ると、中国40.3%、韓国14.2%、ベトナム14.0%、台湾4.4%、モンゴル4.0%の順となっています。4月からは、昨年度からの継続奨学生を合わせた749人が2016学年度奨学生となる予定ですが、今後、他の奨学金合格による辞退、海外学友会推薦奨学生の可否などによって、人数の変動が見込まれます。

## 【訃報】理事 金子千侍氏（第2570地区）逝去

第2570地区理事の金子千侍氏（87歳）が、1月27日にご逝去されました。金子氏は、1995-96年度の国際ロータリー第2570地区ガバナーで、1997年8月に当会理事に就任され、以降19年にわたり、ご奉仕くださいました。2005年8月から2011年8月の6年間は、副理事長の重責も果たしてくださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。



## 第 2720 地区に米山学友会が誕生！

昨年 12 月に開催された常務理事会で、第 2720 地区（熊本・大分）米山学友会の設立が承認されました。かつて九州のロータリー 4 地区をカバーしていた「九州米山学友会」から、2008 年に第 2730 地区が、2013 年に第 2740 地区が独立しており、これで九州の 4 地区それぞれに米山学友会が存在することとなりました。



2 月 7 日に開かれた設立総会には、第 2720 地区の学友と奨学生 16 人が出席し、初代会長には全紅女さん（2005-07／別府東 RC）、副会長にはスチッタ・グナセカラさん（2010-11／別府 RC）と朴志剛さん（2012-13／宇城 RC）、そのほか幹事・会計・理事 6 人が選任されました。全会長は、「第 2720 地区米山学友会は、社会や地域に貢献できる活動をしてまいります。設立総会は終わりではありません、スタートです。

一年後の総会で素晴らしい活動報告ができるよう、これから皆で力を合わせて一所懸命頑張ります」と意気込みを述べ、設立に関わった地区米山奨学委員長の秋吉 実氏ら関係ロータリアンたちは、感無量の面持ちで見守っていました。総会後の懇親会には、ガバナーやパストガバナー、他地区からもロータリアンや学友がお祝いに駆けつけ、100 人以上が集まる盛会となりました。

## みんなで、ソウル国際大会へ…！ お得な登録料は 3/31 まで

ソウル国際大会まで 3 ヶ月余りとなりました。地元の韓国学友はもちろん、台湾、中国、タイ、モンゴル、マレーシア、日本など、各国から多くの学友が参加予定です。国際大会に参加する皆さま、地区やクラブでお世話した学友に声をかけ、ぜひこの機会に、ソウルでの再会や交流を楽しみませんか？3 月 31 日までに登録すると、学友は US100 ドル（4/1～ US130 ドル）、ロータリアンは US375 ドル（4/1～ US440 ドル）と、それぞれ割引登録料が適用されます。



### 【ソウル国際大会・米山関係のお知らせ】

- ◆ 「友愛の家」の Rotary Projects エリアに、米山記念奨学会のブースを出展します（5/28～6/1）
- ◆ 分科会を 5/30（月）午後開催します。発表は日本語で行います（英・韓の同時通訳あり）
- ◆ 5/28 羽田空港出発・3泊4日のパッケージツアーをご用意しています。詳しくは、米山記念奨学会ホームページまで（<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/ric-2016seoul/tour>）



今後開催される海外米山学友会総会のご案内

タイ 2016 年 3 月 13 日（日）

会場：Hi-Residence（649/1-176 Asok Dindaeng Road, Dindaeng Bangkok 10400）

時間：年次総会 15:00-17:00、選挙委員会 17:00-18:00、夕食会 18:00～21:00

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F  
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/  
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）

# 韓国で 世界とつながろう



韓国・ソウル  
2016年5月28日～6月1日

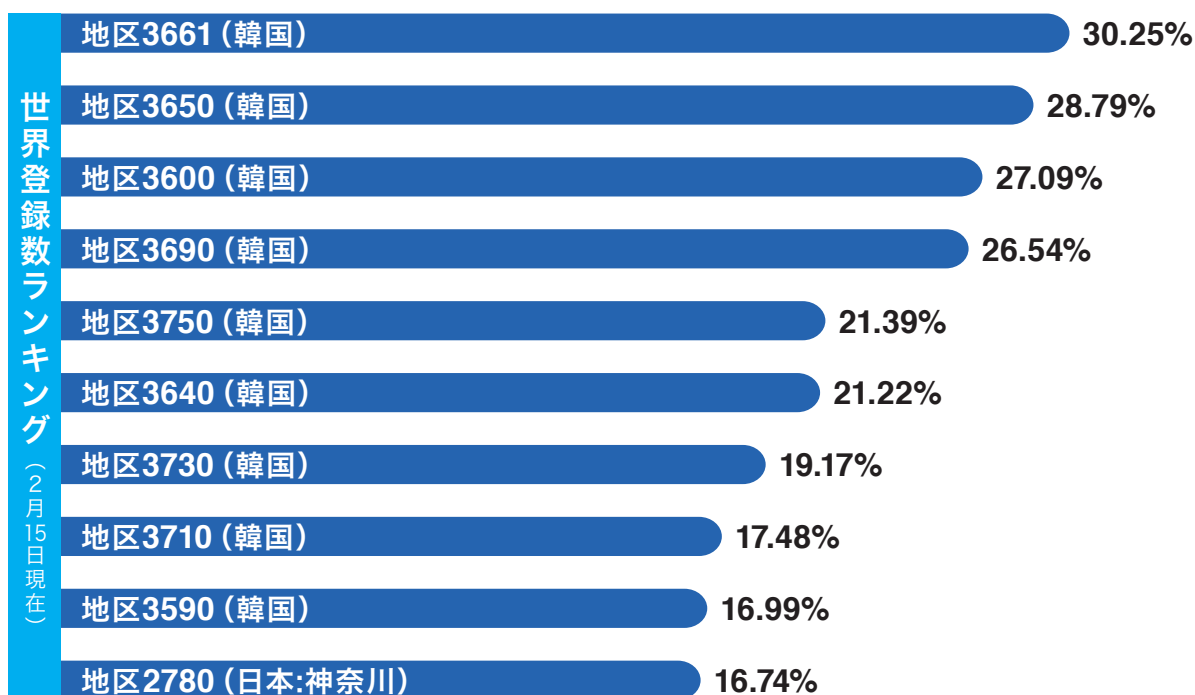
【オンライン登録】

<http://www.riconvention.org/ja>

締切日	料金 (米ドル)
2016年3月31日	\$375
2016年4月1日～ 大会終了日	\$440

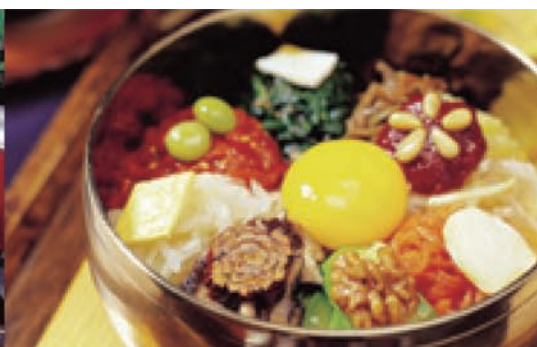
## 大会登録率が高い地区へのスペシャルオファー

国際大会で地区の存在をアピールしませんか。ぜひ国際大会にご登録ください



国際大会に登録したロータリー会員の割合\*が高い上位3地区が、大会伝統のベルを鳴らせる特別オファー。  
地区の存在を世界にアピールしましょう。

※3月31日までに国際大会の登録料を支払った会員数が本コンテストの算出対象となり、割合は随時更新されます。





## 日本地区別ソウル国際大会登録者数一覧

Zone	District	Goal	Paid	%	Total	%	District Chair
1	2500	30	77	256%	77	256%	Tadashi Gouda
1	2510	250	77	30%	77	30%	Tateo Abiko
1	2520	320	149	46%	156	48%	Shoichi Yokoyama
1	2530	240	104	43%	104	43%	DG Mr. Eiichi Sakuma
1	2540	10	15	150%	17	170%	Kenichi Kodama
1	2550	200	265	132%	274	137%	Dr. Hidemaro Tochigi
1	2560	300	156	52%	156	52%	Yutaka Katagiri
1	2570	300	46	15%	47	15%	Motohiko Sakamoto
1	2770	500	396	79%	407	81%	Kazuyoshi Watanabe
1	2790	300	177	59%	181	60%	Ryotaro Hanawa
1	2800	100	17	17%	18	18%	Kazuo Takeda
1	2820	200	64	32%	65	32%	Nakahisa Hakuto
1	2830	300	59	19%	59	19%	DG Tadashi Suzuki
1	2840	150	95	63%	95	63%	DG Akira Ubukata
<b>Total</b>	<b>14</b>	<b>3200</b>	<b>1697</b>	<b>53%</b>	<b>1733</b>	<b>54%</b>	<b>&amp;nbsp;</b>

Zone	District	Goal	Paid	%	Total	%	District Chair
2	2580	400	311	77%	326	81%	Eizo Tomono
2	2590	800	66	8%	76	9%	Akira Takara
2	2600	200	59	29%	61	30%	Osamu Okura
2	2610	250	30	12%	30	12%	DG Yoshiharu Yagyū
2	2620	250	140	56%	164	65%	Harumi Tajima
2	2630	200	131	65%	131	65%	DG Nobuharu Okada
2	2750	800	595	74%	601	75%	Michiko Mitarai
2	2760	500	368	73%	368	73%	DG Mr. Yoichi Kato
2	2780	600	443	73%	456	76%	Hideyuki Sano
<b>Total</b>	<b>9</b>	<b>4000</b>	<b>2143</b>	<b>53%</b>	<b>2213</b>	<b>55%</b>	<b>&amp;nbsp;</b>

Zone	District	Goal	Paid	%	Total	%	District Chair
3	2640	300	138	46%	140	46%	Shigeru Utsumi
3	2650	300	149	49%	149	49%	DG Tadashi Nakazawa
3	2660	800	268	33%	278	34%	Takayuki Iwakami
3	2670	300	98	32%	98	32%	DG Kaijoh Yamada
3	2680	500	159	31%	161	32%	Akira Fukuhara
3	2690	500	213	42%	213	42%	Mr. Yoshimasa
3	2700	400	96	24%	99	24%	DG Haruki Zaizen
3	2710	150	80	53%	80	53%	Seiji Onoki
3	2720	200	92	46%	92	46%	DG Saburo Noda
3	2730	200	202	101%	206	103%	DG Mr. Genyu Nonaka
3	2740	1000	59	5%	61	6%	DG Mr. Kiyooki Miyazaki
<b>Total</b>	<b>11</b>	<b>4650</b>	<b>1554</b>	<b>33%</b>	<b>1577</b>	<b>33%</b>	<b>&amp;nbsp;</b>

**Total for all Deputies**

<b>Total</b>	<b>34</b>	<b>11850</b>	<b>5394</b>	<b>45%</b>	<b>5523</b>	<b>46%</b>	<b>&amp;nbsp;</b>
--------------	-----------	--------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------------





「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## デジタル化されたロータリー文献(3)

- ◆ 『『会員増強』は誰のため?』 野中玄雄 / 2015 / 2p (D.2730月信)
- ◆ 「会員増強および拡大月間に寄せて」 貞方正一 / 2015 / 2p (D.2740月信)
- ◆ 「会員増強・拡大特別月間特集」 / 2015 / 5p (D.2820月信)
- ◆ 「会員増強ドリームプランの実践」 野上征利 / 2015 / 6p (第43回ロータリー研究会報告書)
- ◆ 「韓国の会員増強と維持について」 SangKoo Yun / 2015 / 3p (第43回ロータリー研究会報告書)
- ◆ 「会員を引き込む」 / 2015 / 2p (D.2570会員増強セミナー資料)
- ◆ 「サクセス・ジャパン大作戦 10万人会員を目指して」 松宮 剛・北 清治・辰野克彦 / 2015 / 2p (D.2570会員増強セミナー資料)
- ◆ 「会員は何故減少するのか。会員増強に妙手はあるのか。どうあるべきか 今後のロータリー」 久野 薫 / 2015 / 20p (新ロータリーを語ろう)

**〈ロータリー文庫〉**

**申込先** 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL / (03)3433-6456 FAX / (03)3459-7506  
開館 / 午前10時～午後5時 休館 / 土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

**第2760地区  
HPより、  
随時受付中!**

### 2015-16年度〈ガバナー月信〉個人配信 登録方法

HPアドレス▶ <http://www.rotary2760.org/g15-16/go/monthly.html>

**1** 上記のHPアドレス、もしくは第2760地区のHPトップの「ガバナー月信 登録受付中」のバナーよりページを開く。

**2** 登録フォームに自分のメールアドレスを2回入力して、登録ボタンをクリックして登録完了となります。

登録された方には、月初めに月信PDFのリンクが記載されたメールが送信されます。メール内のURLをクリックするだけで月信PDFがダウンロードされ、閲覧していただけます。

※前年度登録されていた方は、再登録の必要はありません



# 会員数及び出席報告 (2016年1月末)

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER November 2015-16 Rotary International District 2760

クラブ名	会員数			当月女性	入会			退会			例数	1月出席率
	2015年7月1日	2015年7/1女性	2016年1月末日		1月	累計	1月	累計				
南尾張分区	半田	61	4	61	4	1	4	1	4	4	100.00%	
	常滑	33	0	41	0	3	8	0	0	4	96.18%	
	東海	59	3	59	3	0	1	0	1	4	92.31%	
	東知多	23	1	24	1	1	1	0	0	3	77.78%	
	半田南	36	1	35	1	0	0	0	1	3	98.04%	
	知多	24	2	25	2	0	1	0	0	3	87.01%	
	大府	14	0	15	0	0	1	0	0	4	76.37%	
	7RC	250	11	260	11	5	16	1	6		89.67%	
	一宮	86	1	95	2	0	10	0	1	4	97.47%	
	津島	67	4	66	4	0	0	1	1	4	97.09%	
	尾西	17	1	19	1	0	2	0	0	3	94.74%	
	一宮北	38	3	39	3	0	3	0	2	4	94.44%	
	稲沢	51	1	48	1	0	0	1	3	3	92.38%	
	あま	79	2	77	1	0	1	0	3	3	100.00%	
	名古屋清須	31	2	31	2	0	0	0	0	3	83.33%	
	尾張中央	30	0	31	0	0	1	0	0	4	96.30%	
	一宮中央	43	6	43	6	0	0	0	0	4	91.28%	
	9RC	442	20	449	20	0	17	2	10		94.11%	
	西尾張分区	瀬戸	61	6	62	6	0	1	0	0	4	98.73%
		犬山	61	0	60	0	0	0	0	1	3	100.00%
		江南	48	0	49	0	1	1	0	0	4	95.99%
		小牧	29	2	29	2	0	1	0	1	4	92.34%
		春日井	57	2	58	2	0	2	0	1	4	99.12%
		尾張旭	22	1	21	1	0	0	0	1	4	98.81%
		名古屋空港	50	1	51	1	0	1	0	0	3	100.00%
		瀬戸北	63	6	60	6	0	1	1	4	3	100.00%
		岩倉	14	1	13	1	1	1	1	2	4	90.66%
		名古屋城北	25	4	26	4	0	1	0	0	3	95.65%
		尾張長久手	18	4	20	5	0	2	0	0	3	96.67%
		愛知ローターEクラブ	18	4	21	6	0	3	0	0	4	100.00%
		12RC	466	31	470	34	2	14	2	10		97.33%
		名古屋	179	0	185	0	0	10	1	4	4	90.46%
		名古屋西	99	0	103	0	0	6	0	2	4	80.83%
		名古屋南	113	0	119	0	1	6	0	0	4	96.21%
		名古屋みなと	69	0	71	0	0	2	0	0	4	100.00%
		名古屋東南	81	7	82	7	0	5	0	4	3	92.65%
		名古屋中	134	0	136	0	0	2	0	0	2	97.49%
		名古屋瑞穂	66	0	66	0	0	1	0	1	4	95.98%
		名古屋大須	57	5	56	5	0	1	0	2	4	92.61%
		名古屋栄	86	0	88	0	1	4	0	2	3	95.34%
		名古屋名南	53	9	56	10	0	4	0	1	3	90.44%
		名古屋名駅	80	6	79	6	0	1	0	2	4	97.89%
		名古屋丸の内	50	7	48	6	1	2	0	4	4	95.48%
		中部名古屋みらい	21	6	20	6	0	0	1	1	4	58.24%
		13RC	1,088	40	1,109	40	3	44	2	23		91.05%

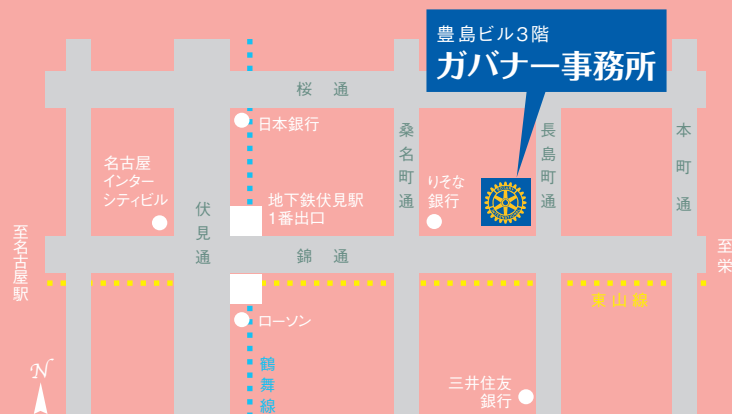
クラブ名	会員数			当月女性	入会			退会			例数	1月出席率
	2015年7月1日	2015年7/1女性	2016年1月末日		1月	累計	1月	累計				
東名古屋分区	名古屋北	93	0	99	0	1	8	0	2	4	98.69%	
	名古屋東	88	0	87	0	0	1	0	2	2	91.77%	
	名古屋守山	40	3	37	3	0	0	0	3	4	97.55%	
	名古屋和合	105	0	109	0	0	5	0	1	4	80.73%	
	名古屋名東	65	9	64	10	0	1	0	2	3	90.40%	
	名古屋名北	37	5	37	5	0	0	0	0	3	98.99%	
	名古屋千種	38	3	39	3	0	1	0	0	3	91.38%	
	名古屋昭和	52	2	53	3	0	3	0	2	3	100.00%	
	名古屋錦	28	9	28	10	0	1	1	1	4	82.99%	
	名古屋東山	32	7	34	7	1	2	0	0	4	90.05%	
	名古屋葵	20	0	20	0	0	0	0	0	4	70.00%	
	名古屋アイリス	37	14	36	13	0	1	1	2	3	81.08%	
	12RC	635	52	643	54	2	23	2	15		89.47%	
	東三河分区	豊橋	113	3	115	3	0	3	0	1	4	93.31%
		蒲郡	54	0	56	0	2	4	1	2	4	90.23%
		豊橋北	70	4	71	4	1	2	0	1	3	98.37%
		豊川	73	1	75	1	0	2	0	0	3	100.00%
		田原	41	1	39	1	0	0	0	2	4	100.00%
		豊橋南	56	0	56	0	0	2	1	2	3	98.74%
		新城	43	2	50	2	0	7	0	0	4	82.04%
		渥美	34	0	33	0	0	0	0	1	4	90.13%
		豊川宝飯	60	2	60	2	0	1	1	1	4	94.02%
		豊橋ゴールデン	63	2	64	2	0	2	0	1	4	95.39%
		田原パシフィック	48	1	49	1	0	3	0	2	4	91.81%
		豊橋東	40	0	42	1	0	2	0	0	4	86.31%
		12RC	695	16	710	17	3	28	3	13		93.36%
		岡崎	92	4	89	4	1	1	1	4	3	100.00%
		豊田	97	0	95	0	0	3	0	5	4	98.59%
		岡崎南	92	2	91	2	0	1	1	2	3	100.00%
		豊田西	96	0	96	0	0	3	0	3	3	100.00%
		岡崎東	58	1	57	2	0	2	0	3	4	99.03%
		豊田東	77	0	77	0	1	2	0	2	4	97.09%
		岡崎城南	69	0	69	0	0	1	0	1	4	95.09%
		豊田三好	21	0	21	0	0	0	0	0	3	86.12%
		豊田中	42	6	46	7	1	6	0	2	4	100.00%
		9RC	644	13	641	15	3	19	2	22		97.32%
		刈谷	91	6	96	6	0	5	0	0	3	100.00%
		安城	59	5	59	6	0	1	0	1	4	93.07%
		西尾	78	1	77	1	0	2	1	3	4	100.00%
		碧南	68	3	69	3	0	4	0	3	3	100.00%
		西尾一色	26	0	28	0	0	3	0	1	4	99.11%
		高浜	31	2	33	2	0	4	0	2	4	100.00%
		知立	61	0	63	0	0	2	0	0	4	100.00%
		西尾KIRARA	57	1	57	1	0	1	0	1	4	100.00%
		三河安城	63	6	63	6	0	1	0	1	4	98.82%
		9RC	534	24	545	25	0	23	1	12		99.00%

	クラブ	平均
平均出席率	83	93.91%

地区内クラブ数 83RC	7月1日会員数	4,754名 (内女性/207名)	増加会員数 (累計)	184名
	1月末会員数	4,827名 (内女性/216名)	減少会員数 (累計)	111名
	当月平均出席率	93.91%	差引純増会員数 (累計)	73名

1月	入会	退会	純増
	18名	15名	3名





〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目15番15号 豊島ビル3階

### ガバナー事務所

TEL. 052-201-2760 FAX. 052-201-1670  
E-mail. governor15-16@rotary2760.org

### ガバナーエレクト事務所

TEL. 052-203-2760 FAX. 052-201-1670  
E-mail. governor16-17@rotary2760.org

### ロータリー財団

TEL. 052-211-2760 FAX. 052-211-0230  
E-mail. fbranch@rotary2760.org

### 米山記念奨学・青少年交換

TEL. 052-228-0808 FAX. 052-211-0230  
E-mail. ybranch@rotary2760.org (米山記念奨学)  
yebranch@rotary2760.org (青少年交換)



国際ロータリー〈第2760地区〉

ガバナー 加藤 陽一